

しんあい

季刊

2007年(平成19年) 2月15日発行 第62号 編集と発行 しんあい編集部

社会福祉法人
多摩同胞会

〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10

TEL 042-366-0080

多摩同胞会のホームページを開設
しています。

<http://www.tama-dhk.or.jp/>
をご覧ください



感謝のつどいにて
お世話になっているボランティアさんへメッセージカードをお渡ししました。

介護に関するご相談は無料ダイヤルで！

- 泉苑在宅介護支援センター
☎ 0120-6540-24
老後支援 24時間
- あさひ苑在宅介護支援センター
☎ 0120-2942-24
福祉にっこり 24時間

- 法人60周年を
記念して
- 年末年始のお食事
- 施設だより
テーマ「施設自慢」

みなさまのご支援に感謝します
社会福祉法人

多摩同胞会創立60周年記念事業

平成18年に法人は創立60年、還暦を迎えました。これを記念して、11月に三つの事業を実施いたしましたので、ご報告いたします。



法人60年史発行

11月15日に法人「60年史」を3000部発行しました。50年史以降、大きな制度変革期に当り、大きな中心に「継承」と「変革」をテーマにまとめました。この間は、社会福祉基礎構造改革、社会福祉法改正、そして介護保険法の施行と私たちを取り巻く環境はめまぐるしく変わりました。そのなかで、法人や各施設が取り組んできたことから、執筆者は企画会議の意図した時代に合わせ変革していかなくてはならないことを記録として残すことにしました。また、併せて中城前理事長のあゆみと思いを記した別冊も刊行することができました。

編集にあたり、(株)凱風舎にお力添えをいただきました。企画会議メンバー5名により60年史の全体像を検討し、そこに編集委員5名が加わりテーマ別の担当となり、執筆者は総勢50名となりました。

11月15日に法人「60年史」を3000部発行しました。50年史以降、大きな中心に「継承」と「変革」をテーマにまとめました。この間は、社会福祉基礎構造改革、社会福祉法改正、そして介護保険法の施行と私たちを取り巻く環境はめまぐるしく変わりました。そのなかで、法人や各施設が取り組んできたことから、執筆者は企画会議の意図した時代に合わせ変革していかなくてはならないことを記録として残すことにしました。また、併せて中城前理事長のあゆみと思いを記した別冊も刊行することができました。

35年史、50年史に引き続き、60年史を加えて三部作となりました。

ご希望の方にこの「60年史」を頒布いたします。
(1冊送料込み2000円)
(上野 広美)



別冊「名もなき花を咲かせたい」



食事に関するテーマも継続して

シンポジウム

平成18年11月17日金曜日、府中市中文化センターひばりホールにて、「法人創立60周年記念シンポジウム」を開催しました。シンポジウムは、「府中の福祉 市民が安心して暮らすために」社会福祉法人の役割」と題しました。すこし、天気が心配でしたが、2時の開会の際には会場がほとんど埋まってしまつほどの約155名の方々にあつぱりいただくことができました。

坂本巖理事長の挨拶の後、野口忠直府中市長、村崎啓二府中市長、市議会副議長にご挨拶をいただきました。次に鈴木恂子常務理事がご挨拶をいたしました。



事がこのシンポジウムの主旨説明をし、法人職員による事例報告。この事例報告を踏まえシンポジウムからご自身の介護体験、府中市や府中市社会福祉協議会の取り組み、民生委員としての地域での関わりについてそれぞれご発言をいただき、予定していた2時間半はあつという間に終わってしまった。

会場からはもっと多くの市民がこのような話を聞く機会をもつべきだという意見もいただきました。誰もが地域で安心して暮らすことができるように、これから法人は力を尽くしていく所存ですが、社会福祉法人の必要性を市民の皆さんにもっと理解していただく努力もつづけたいと思います。

(詳細につきましては、別冊でシンポジウムの全容をご紹介します)

また、神田地区では平成19年2月17日に岩本町ほほえみプラザで、シンポジウムを開催する予定です。

感謝のつどい

11月28日火曜日、府中市芸術の森劇場平成の間にて、「感謝のつどい」を開催しました。平成の間から見える府中の森公園の景色はの絵のようで、来場された方の目を楽しませてください。

この「感謝のつどい」には、府中市内各施設で長い間お世話になっていらっしゃるボランティア、民生委員、地域の方々と約180名にお越しいただき、日頃なかなか表せない感謝の気持ちをとお伝えしました。

各ボランティアの活動をスライドでご紹介し、ご出席されたお一人お一人に職員が心を込めたようないがります。

11月28日火曜日、府中市芸術の森劇場平成の間にて、「感謝のつどい」を開催しました。平成の間から見える府中の森公園の景色はの絵のようで、来場された方の目を楽しませてください。

この「感謝のつどい」には、府中市内各施設で長い間お世話になっていらっしゃるボランティア、民生委員、地域の方々と約180名にお越しいただき、日頃なかなか表せない感謝の気持ちをとお伝えしました。

各ボランティアの活動をスライドでご紹介し、ご出席されたお一人お一人に職員が心を込めたようないがります。



坂本巖理事長からのごあいさつ



みなさんへメッセージカードを



司会を勤めた福岡泉苑施設長



スライド上映をご覧いただく

年末年始のお食事



大掃除も無事に終え、大晦日から新年にかけては一年のなかでも「食べる」事が楽しみな季節の行事の一つだと思います。そこで今回は各施設の年末年始の「食」と作り手の想いをご紹介します。

連雀



おせち(ペースト)

- ・赤飯・清汁
- ・プリ照り焼き
- ・トマトゼリー添・昆布巻き
- ・南瓜煮・伊達巻
- ・ほうれん草のお浸し
- ・黒豆ゼリー



- ### 大晦日
- ・年越しそば
 - ・天ぷら(海老・さつまい)
 - ・わらび煮
 - ・果物(みかん)

大晦日はご利用者様に人気のある天ぷらを2種盛りにし、おせちは彩り、正月らしさを大事にしました。またきざみ食には、食べやすいように照り焼きや煮物にあんをかけました。ペースト食は「立体的なペースト食」とテーマを決め、寒天やゼラチン、とろみ剤で二品を形あるものにし、みためを大切にしました。

元旦(おせち)

- ・赤飯・清汁
- ・プリ照り焼き
- ・煮しめ・なます
- ・二点盛



(管理栄養士 渡辺 綾・調理員 小林大輔)

岩本町



- ・各種飲み物
- ・ワイン(赤・白)
- ・オレンジジュース
- ・りんごジュース

(栄養士 澄川裕子)

大晦日

- ・年越しそば
- ・天ぷら
- ・(海老・さつまい)
- ・ぜんまい煮
- ・果物(みかん)

岩本町ほほえみプラザでは十二月三十一日の夜に年越しのイベントがあるので、三十一日の夕食・一日の献立は彩を考えた食べきりサイズにしています。今年は元旦の昼食に正月料理をそろえました。
* 十二月三十一日の夕食は年越しそばとご利用者の方に人気の天ぷらを2品用意しました。

元旦

- ①お雑煮
- ②祝い膳
- ③プリの照り焼き
- ④煮しめ
- ⑤なます
- ⑥正月の3点盛



あさひ苑



一年の締めくくりとして大晦日の年越しそば。新しい年の幸せを願って、まず初めに縁起かつぎで食すおせち料理、ひとつひとつにいわれがあり、それらをお重に詰めて元旦に用意します。
一度に多くは召し上がれないため、あさひ苑ではお正月三ヶ日のお食事でも色々と工夫し召し上がって頂きます。訪問食事サービスの方には、松花堂のお重に十九品目を盛付け十二月三十一日夕方より三十九名の方にお届けしました。今年の新豆を仕入れて黒豆をコトコトと煮る。きんこの芋はしっかりとアク抜きをして練りあげる。お祝いごとにはかかせないお頭は、ホームは手作りのちりめん山椒・訪問食事の方にはえびの姿煮とわかさぎ甘煮としました。ペースト食の方には、鮭のテリヤキをメインとし黒豆・きんとん 伊達巻等を用意しました。

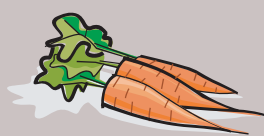
元旦の朝はおせち料理とお雑煮です。

各フロアにてご利用者の前でお餅を焼きます。焼きあがるまでの時間は、除夜の鐘は聞いたとか、餅は幾つ食べるとか・・・などと話をしながらのひとときです。焼いたお餅は好評です。お餅を召し上がれない方には、じゃが芋と白玉粉を混ぜて作る「芋餅」を用意しています。
おせち料理の内容は定番が多く、毎年ほとんど変わりませんが、おせちの入った器の帯締めを外し、新しい年を迎えられたことを皆さんとお祝いし、今年も良い年になりますように願っています。

(栄養士 竹元昭子)

- ### おせち料理
- ・紅白蒲鉾
 - ・伊達巻
 - ・わかさぎ甘露
 - ・鮭の昆布巻
 - ・黒豆
 - ・かきの菊花なます
 - ・栗きんとん
 - ・鯛の玉みそ焼
 - ・えびの姿煮
 - ・お祝い菓子
 - ・おきあがりこぼし
 - ・鶏の八幡巻
 - ・だし巻玉子
 - ・お煮メ
 - ・紅千枚漬
 - ・あんほ柿
 - ・お赤飯





お食事の工夫!



年末年始のお食事

子どもの「食」

食事時にスナック菓子をぱりぱり、深夜にレストランにいる子どもたち・・・子どもの食の乱れはいまや国民的課題とされています。日々成長する子どもにとって健全な食生活は健康な心身を育むために欠かせない、将来の食習慣の形成に大きな影響を及ぼす大切なものです。そんな子どもの「食」に対する児童各施設の取り組みについてご紹介します。



(保育士 嶋田 歩)

おやつの前に絵本や手遊びをして落ち着いておやつが食べられる雰囲気作りをしています。お弁当やおやつの際にも「かんぱーい!」と言いつつお友達や保育士と一緒に「おままごとの延長のよう」にしてお茶を飲みます。みんなで食事をするこの楽しさを知ってほしいと思っています。



たっち

きずな



きずなでは栄養面をサポートする保育室での乳幼児の給食、長期休暇中の小・中生への給食のほかに、小学生の子どもたちによるランチ作りがあります。料理をつくる楽しさ、大勢で食べる楽しさを味わってもらいたいと、ワイワイ楽しく行います。母親が就労している家庭が多いため、子どもたちが自分の食事を用意できることも大切な力であると考えています。

少年指導員(若林佑子)



泉苑



(管理栄養士 木下恵花)



- 大晦日
- ・年越しそば
 - ・かきあげ
 - ・牛ごぼうしぐれ煮
 - ・焼きおにぎり



- 元旦(おせち)
- ・黒豆
 - ・わかさぎ甘露煮
 - ・やわらかまぼこ
 - ・伊達巻
 - ・栗きんとん
 - ・かずのこ
 - ・南京松

おせち・・・職員の世代交代により、おせちを作ったことがないメンバーでのおせち作りとなりました。きんとんを担当した職員は、前日から緊張して夢の中までも作っていたそうです。黒豆を担当した職員は、すこし、皮にシワが入り残念がっておりました。毎年作っているおせち料理ですが、たとえレシピアが残っていても実際に作ってみないとコツはつかめないことを痛切に感じました。伝統の味として、これからも作り続けていきたいと思っています。

緑苑

緑苑は、毎年大晦日の年越しそばは、かき揚げのついた温かいおそばをお出ししています。元旦の朝はお雑煮にお重に詰めたおせち料理でしたが、今年度はお重に入れる形式をやめて、黒豆、栗きんとん、昆布巻き、なます、数の子、煮貝、伊達巻、などを三が日の食事の中に取りわけ、元旦の昼食には「どーんっ」と、刺身の盛り合わせをお出ししました。



- 大晦日
- ・年越しそば
 - ・かきあげ
 - ・いなり寿司
 - ・茶碗蒸し
 - ・みかん



- 元旦(おせち)
- ・黒豆
 - ・わかさぎ甘露煮
 - ・やわらかまぼこ
 - ・伊達巻
 - ・栗きんとん
 - ・かずのこ
 - ・南京松

(栄養士 栗沢敏子)



しらとり



(少年指導員 志村美由紀)

しらとりでは保育室の給食に加え、地域の子ども達が利用するトワイライトステイの夕食も提供しています。毎日の献立は栄養士によってカロリー計算され、バランス良く栄養を摂取できるよう、野菜の調理方法にもさまざまな工夫が施されています。ほぼ毎日のようにトワイライトステイを利用する子ども達にとっては、しらとりでの食事生活の一部です。できるだけ家庭と同じ雰囲気ですることのできるよう、温かい環境づくりに努めています。



お食事の工夫！



年末年始のお食事

子どもの「食」

食事時にスナック菓子をぱりぱり、深夜にレストランにいる子どもたち・・・子どもの食の乱れはいまや国民的課題とされています。日々成長する子どもにとって健全な食生活は健康な心身を育むために欠かせない、将来の食習慣の形成に大きな影響を及ぼす大切なものです。そんな子どもの「食」に対する児童各施設の取り組みについてご紹介します。



(保育士 嶋田 歩)



おやつの前に絵本や手遊びをして落ち着いておやつが食べられる雰囲気作りをしています。お弁当やおやつの際にも「かんぱーいー」と言いながらお友達や保育士と一緒に「おままごと」の延長のようにしてお茶を飲みます。みんなで食事をするこの楽しさを知ってほしいと思っています。

たち

きずな



きずなでは栄養面をサポートする保育室での乳幼児の給食、長期休暇中の小・中生への給食のほかに、小学生の子どもたちによるランチ作りがあります。料理をつくる楽しさ、大勢で食べる楽しさを味わってもらいたいと、ワイワイ楽しく行います。母親が就労している家庭が多いため、子どもたちが自分の食事を用意できることも大切な力であると考えています。

少年指導員(若林佑子)



泉苑



(管理栄養士 木下恵花)



- 大晦日
- ・年越しそば
 - ・かきあげ
 - ・牛ごぼうしぐれ煮
 - ・焼きおにぎり



- 元旦(おせち)
- ・黒豆
 - ・わかさぎ甘露煮
 - ・やわらかまぼこ
 - ・伊達巻
 - ・栗きんとん
 - ・かずのこ
 - ・南京松

おせち・・・職員の世代交代により、おせちを作ったことがないメンバーでのおせち作りとなりました。きんとんを担当した職員は、前日から緊張して夢の中までも作っていたそうです。黒豆を担当した職員は、すこし、皮にシワが入り残念がっておりました。毎年作っているおせち料理ですが、たとえレシビが残っていても実際に作ってみないとコツはつかめないことを痛切に感じました。伝統の味として、これからも作り続けていきたいと思っています。

緑苑

緑苑は、毎年大晦日の年越しそばは、かき揚げのついた温かいおそばをお出ししています。元旦の朝はお雑煮にお重に詰めたおせち料理でしたが、今年度はお重に入れる形式をやめて、黒豆、栗きんとん、昆布巻き、なます、数の子、煮、伊達巻、などを三が日の食事の中に取りわけ、元旦の昼食には「どーんっ」と、刺身の盛り合わせをお出ししました。



- 大晦日
- ・年越しそば
 - ・かきあげ
 - ・いなり寿司
 - ・茶碗蒸し
 - ・みかん



- 元旦(おせち)
- ・黒豆
 - ・わかさぎ甘露煮
 - ・やわらかまぼこ
 - ・伊達巻
 - ・栗きんとん
 - ・かずのこ
 - ・南京松

(栄養士 栗沢敏子)



しらとり



(少年指導員 志村美由紀)

しらとりでは保育室の給食に加え、地域の子ども達が利用するトワイライトステイの夕食も提供しています。毎日の献立は栄養士によってカロリー計算され、バランス良く栄養を摂取できるよう、野菜の調理方法にもさまざまな工夫が施されています。ほぼ毎日のようにトワイライトステイを利用する子ども達にとっては、しらとりでの食事生活の一部です。できるだけ家庭と同じ雰囲気ですることのできるよう、温かい環境づくりに努めています。



スウェーデン「三つの財団」との交換研修も3回目となりました。平成18年5月には、神田事業所から2名の職員を派遣しましたが、10月にはスウェーデンから研修生が来日されました。神田事業所での初めての受け入れに戸惑うこともありましたが、実りある研修となりました。

認知症を深く理解する

岩本町ほほえみプラザ相談員 磯谷 美奈

平成18年10月16日から10月21日までの6日間、グループホームいわもとを中心にスウェーデン・ヨーテボリ市「三つの財団」職員のサンドラさんとアンジェラさんが現場実習されました。

お二人には、入居者の方とともに買い物や食事作り、神田明神へのドライブなど体験していただきました。

意見交換会の中で、職員教育について「スウェーデンの介護に携わる職員は高等専門学校で脳の器質的な疾病・解剖学・認知症についてなど学び、「三つの財団」でも認知症という病気について理解を深めるための継続研修を行っている」という話がありました。これは今後の神田事業所の課題として取り組んでいきたいと考え、準備を進めています。

日本の介護職員に伝えてほしいと言われたことを報告します。「水をたくさん飲ませてほしい。スウェーデンでは一杯のコーヒー・紅茶を提供したら必ず2杯の水を飲んでもらうよう教えられている。コーヒー・紅茶は利尿作用が強いため、水分補給には適さない。認知症のある人に水分を取ってもらうことは簡単なことではないが、常に水を飲んでもらえる努力をしている。インナードライは腕をつかんで皮膚が元に戻らない・顔が黄色く垂れ下がっているなどで簡単にチェックできる。」

認知症への理解とともに高齢者への理解もより深めていきたいと感じた研修生の受け入れとなりました。



英語を交えてコミュニケーション

手料理をふるまう

神田明神へ

歓迎パーティ後記念撮影

自分の仕事に自信と誇り

かんだ連雀介護員 野澤 真紀子

研修期間は瞬く間に過ぎていきました。来日初日、岩本町ほほえみプラザにて盛大な歓迎会を催しました。ご利用者を交えての盆踊りはとても賑やかなものとなりました。

翌日からのグループホームいわもとでの実習では、ご利用者とともに買い物や食事作りをし、慣れない日本食にお二人とも果敢に箸をすすめ、少しずつご利用者や職員との交流を深めていきました。

意見交換会では率直な感想をいただきました。神田事業所2施設の印象として、サービスマインドが高い、職員が熱心で笑顔で接しているなど良い面をあげられ、私を含め職員の仕事に対する自信につながりました。また、改めて認知症の知識を身につけることの重要性、職員の体調や人件費を考えれば福祉用具や機器を柔軟に使用することも必要ではないか、とのアドバイスを受けました。神田事業所として検討していきたいと思えます。

送別会は九段下のお寿司屋さん。サーモンとカツパ巻き、そして日本のビール（飲みやすい！とのこと）に舌鼓を打たれ、別れ際には皆が涙、涙の心温まる会となりました。この感激を忘れぬうち、新たな取り組みを試みたいと思えます。

最後になりましたが、通訳や研修のコーディネーターを務めてくださった友子・ハンソンさんに心より感謝申し上げます。



施設 だより

施設 自慢

テーマ

各施設ならではの自慢話をご紹介します。

しらとり

『恒例!! お楽しみ会』

昨年の12月、白鳥寮恒例のおたのしみ会が行われました。毎年たくさんのお客さまが来てくださり、会場は今回も大盛り上がり!!この大イベントは白鳥寮の自慢の一つです。

中でも一番の目玉は、寮内保育室の幼児、地域保育所に通う幼児、学童、お母さん、職員に分かれた出し物です。

今回学童は、世界童話のパロディー劇に挑戦!手作りの台本を片手に、毎日猛練習の日々でした。さて、本番はというと……劇が始まるや否や会場がどつと笑いに包まれ、大成功!!子ども達にとつて自信につながる経験でした。

そして地域保育所に通う幼児は、この日のために保育所から戻った後に練習をしました。夜からの練習ですが、普段遊びことの少ない友達に会えることや、保育職員と過ごせる時間という点もあってか張り切って参加してくれました。

(母子指導員 奥田 淳子)



泉苑

「わ・わ・わ??-」

「今日は「わ・わ・わ倶楽部」の日だから、留守中頼みますねー!」大きな声でAさんが職員に話しています。

「わ・わ・わ倶楽部」とは、泉苑で平成17年からはじめた逆サービス事業のことです。「輪(わ)」「話(わ)」「和(わ)」という三つの言葉を文字としています。ですから職員から利用者へ「逆サービス」とお誘いしても首を傾げる方でも「わ・わ・わ」の日ですと声を掛けると、待っていました!と言わんばかりの笑顔で参加されるのです。Bさんは自分なりに「わいわい倶楽部」と呼び、その日を心待ちにしています。

そろそろ2年が経過しようとしています。毎日とても驚くことばかりです。いつもホームの中で目立たないCさんが率先して皿を拭いて下さったり、いつも無口なDさんが一人で歌を披露して下さったり、いつもベースト食のEさんがみんなを炊き上げたり、たご飯を召し上がった。Aさんは他のご利用者や職員に「あなたは濃い目が好き?」と聞きながら、一番にお茶の用意をして下さいます。

フロアでは見られない生き生きとした表情、皆さんの違った一面を間近に拝見できる「わ・わ・わ倶楽部」に是非お立ち寄り下さい。お茶を出して歓迎致します。

さて、今日はどなたがお茶を入れて下さるのでしょうか……。

(介護員 岸千陽)



連雀

お風呂で
リラックス

「あ〜気持ちいい。」「いいお湯だわ〜。」
今日も連雀のお風呂場からはこんな声が聞こえてきます。なかでも特に人気なのは個別入浴用のヒノキのお風呂です。ヒノキの浴槽は香りが良く、木肌の温もりが感じられリラックス効果があると言われます。手入れに手間がかかるということで、家庭ではなかなかお目にかかれないヒノキのお風呂は、温泉気分も味わっていただくことができます。

利用者様も入浴中は自然と歌を口ずさまれたり、いい気分できいろいろお話しして下さったりとつい長風呂になってしまうことも利用者様の気持ちよさそうな様子は私達の喜びでもあります。

さあヒノキのお風呂で今日もリラッシーユ！



(介護員 藤島 朗子)

あさひ苑

「あさひ苑の
名所？」

あさひ苑の「自慢」といえば・・・そう言われて私が思いついたのは日本庭園でした。

庭園は滝を模した深山から水が流れ出すよう造られており、庭石や草木は四季折々の景色を私たちに見せてくれます。また、東屋やベンチも置かれており、誰もがのんびりと過ごせるようになっています。

そんな日本庭園はご利用者にとって癒しの場所となっています。よく外で草むしりや落葉拾いをしているMさんもここがお気に入りのお一人。「ここは風情があって、なんか落ち着くね」。笑顔でおっしゃったMさんは、普段の生活ではなかなか感じる事が出来ない日本情緒をとて楽しんでおられる様子でした。

皆さんもあさひ苑にいらした時には日本庭園にちょっと立ち寄って、日本情緒や四季の景色を楽しんでみてはいかがでしょうか？



(サービスマニピ整室
光江 浩二)

きずな

ズバリ
「恵まれた
自然環境」！

きずなの自慢といえばこの一言に尽きるでしょう。春には山全体が色づき、夏には青々とした葉が茂り、秋には紅葉、冬景色もまた趣き深い。秋川渓谷に位置するきずなには四季折々の楽しみがあります。きずなを利用される方々にとっても、ゆつくりと休養するには絶好の場所と自負しております。

しかしきずなっ子はゆつくり休養してはいません！夏になれば木に登って虫取りをし、毎日のように川で遊び、仲間と秘密基地を作っては走り回り、時には山の中で迷路になり・・・と、昔ながらの風景の中で元気に遊んでいます。現代っ子が味わうことの難しいドキドキやワクワクをたくさん感じながら成長していく子どもたち。子どもたちの生き生きとした表情もまた、きずなの自慢です。

(少年指導員
若林 佑子)



たっち

「たっち自慢！」

施設の自慢と言ったら・・・広い？新しい？きれいな？素敵なスタッフがいる！などなど挙げればキリがない程たくさん自慢したいことが浮かびます。

ですが、やはり一番の自慢は「毎日たくさん笑顔に出会える！」ことです。

大きな声で「おはようございます!!」と保育室に入ってくる子ども、少し照れながら「こんにちは」と言い、勉強！をしに来る中学生も、小さな赤ちゃんを連れてくるお母様やお父様やお爺様、お婆様も・・・みんなとても素敵な笑顔を見せてくれます。

時には、笑顔になれない気分であつちいらした方でも、帰る時には表情が変わり「また来ます！」という声に笑顔を感じます。

たくさんの方の笑顔に私たちスタッフも笑顔でお返しをします。そのおかげであつちにはいつも暖かい風が流れています。



(保育士 嶋田 歩)

岩本町

至福のひととき

岩本町の自慢はなんと言っても大都会の真ん中に建っていることです。定期的に企画するドライブでは、千鳥ヶ淵・銀座・お台場・秋葉原にすぐに行くことができます。歴史の古いものから最先端のものまで触れ合うことができるため、身も心も若い方が岩本町には多くいらっしゃいます。

また、老舗のお店も多いことから有名なお菓子屋さんもいっぱいあります。長年千代田区に住んでおられるAさんにおいしいお店を聞き、実際にお菓子を買って来たりもします。

あんなのたくさん入ったたら焼に舌鼓みうちながら、今度はどの老舗がいいかしらなど、利用者の皆様とおいしいものや名物話に花を咲かせて、おやつを楽しんでおります。



(介護員 清水 香那)

緑苑

美しい庭、
ぜひ一度
ご覧下さい！

初めて苑を訪れた方には是非ご案内したくなる美しい庭と菜園があります。雑草ひとつなく手入れされた芝生。ブルーベリーやキウイフルーツの実がジャムになって食卓を飾ることもあります。菜園で収穫されるものも同様。作り方をご近所の方に教わることもあります。

草取りや花がら摘みをまめにしてくれる人とその庭を楽しむ人。

府中でゴミの減量が話題になった時に、早速生ゴミは菜園の堆肥にしようという案を出してくれた方もいました。

室内にいた花もさりげなく、お花に包まれて生活しています。

(次長 市川 美智子)



ニューズミニミニ

「たっち

子育て交流会卒業生の力作

たっちでは、子育て中のお母さんの仲間作りを目的として、子育て交流会「すやすやクラブ」「こころんクラブ」を開催しています。隔週で4回行われる交流会の中で、親子一緒に参加しながら、親子のふれあいや情報交換を通してお母さん同士の交流を深めていきます。回を追うごとにママ友達の輪が広がり、赤ちゃんの成長も見られ、どんどん和やかな雰囲気になっていきます。交流会が終わってもお母さん同士の交流がなくなってしまうわけではなく、気の合うママ友達と行き来したり、自主的にたっちの交流ひろばに集まったりとおつきあいが続いている様子は、スタツフとしてもとても嬉しいものです。

写真のクリスマスツリーは、くるる（たっちが設置されている商業施設）のクリスマスツリーコンテストに、子育て交流会を卒業した十数組の親子が共同制作し出品した力作です！このような形で、子育て交流会の仲間がつながり続けていくのはとても素敵だと思いませんか？たっちでは、これからも素敵なお仲間作りの機会を提供していきたいと思えます。

(豊島恵)



御寄贈ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

アオヒ印房 秋場一男 (株)アップルファーム 池城安俊 石井宏 石倉由美子 石渡橋子 (株)イトーヨーカ堂府中店 EY労組府中支部 猪俣昇 植松八千代 内野滋雄 (株)NTTドコモ 大沢良三 大谷博子 大野京子 大原幸恵 大森真理子 岡田敏子 長田ミチ 小沢未子 乙葉美代子 加藤木とみ (株)西友 川博 國枝恵子 国際ソロプチミスト 小松博 財団法人報知社会福祉事業団 在日米軍司令部広報部 佐藤夏子 (福)三徳会 塩澤佳津子 浄土宗東京地区八王子組青年会 白百合学園中学校・高

等学校 新世代(株) 杉本口男 鈴木誠 平義夫 タカラブネサミット府中西原店 田中長年 ちよだま ちよくりフオラム (福)テレビ朝日福祉文化事業団 財団法人東京出版協同組合 東京都立誠明学園 東穀協会 中井勉 (株)二トリ東京本部 日本出版クラブ 野表治夫 東神田町会 ひのきしん会 (株)ひまわり総研 松田イサ 三輪武志 八百松 司 削田恵美子 吉川良子 米屋株式会社

(平成18年10月~12月)

ボランティアの御協力ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

阿部才千代 会田久枝 青木こずえ 青山幸子 赤田美恵子 赤林好子 秋山恵美子 浅野貞子 網代恵美 我妻文子 有本孝典 飯田アヤ子 飯田八重子 飯田洋子 飯塚喜多子 飯塚清江 井口有為子 井口イマ 石井宏 石黒文子 石黒富江 石坂勝世 石田好子 石原みつ子 石渡橋子 いずみこどもプラザ 市川アイ子 市川明子 市川知子 伊東富美子 井上宏子 井上陽子 井路世津子 今福進 鶴池勝子 上沢美和子 上田悦子 上野玲子 鶴沢シズ 内野ミヨ子 内野洋子 内堀美喜 江口亜津子 海老原志子 遠藤伊代 遠藤博 遠藤みつよ 遠藤洋子 大久保幸子 大倉弘子 大西妙子 大橋正子 小笠原敦子 緒方シゲ子 緒方智恵美 岡田基子 岡野玲子 沖音楽教室 荻野和子 荻原八枝 小倉道子 尾崎節子 尾崎ヨシ子 小澤・中村(千代田区)児童家庭支援センターの皆様) 押立保育園 お笑いボランティア門井ゲーム 恩田猛海江田紀久子 角田和歌子 笠間豊子 梶田慶子 鹿島千恵子 鹿島千幸 鹿島正則 鹿島幸江 加藤静 加藤博子 加藤洋子 加藤佑子 亀岡紀知信 川崎綾子 川崎和代 川崎恵 神田大和町町会 城所栄子 木下照子 木村幸子 草野美鈴 窪田正紀 久保田摩耶子 黒田伸子 黒田寿夫 警察学校 弦間まさ 小出農一 小出由美子 小岩井雅子 河野トシヨ 小阪緑 越川幸子 小島百合子 小谷文子 後藤寿枝 小林久子 紺野和子 今野幸子 ギャ・ボディショップ東京駅一番街店 斎藤孝子 酒井紘子 坂本 他、ボディショップ六本木店の皆様 区内歯科医院勤務歯科衛生士有志の皆様 坂本越子 桜山左恵 佐藤英子 佐藤公子 佐藤なか子 佐藤初江 佐藤和枝 佐藤ミドリ 佐野田鶴子 塩入圭子 塩澤佳津子 重田文子 穴戸康正 品田啓子 芝喜久子 島津弘子 島田たず清水文枝 冷水豊 下江美鈴 下条エイ子 ジョンソン・エンド

(平成18年10月~12月)

編集後記

62号の企画はとても充実しています。たくさんの方々に読みいただきたいと思います。

(編集長 上野広美) しんあいが皆さんの協力のもと生まれることが実感でき、とても良い経験となりました。

(小林真己) やつと記事を書く楽しさが芽生えてきました。遅咲きでしたが、楽しい1年でした。

(嶋田 歩) 編集委員となり一年、早いものです。季刊しんあいを愛読して下さった皆様、編集委員の皆様有難うございました。

(丸山紘美) あつという間に1年が終わりました。まだまだ不慣れですが、来年度も宜しくお願いいたします。

(岸 千陽) 一年経つのが早い早い！来年も同じ事を言ってくれそうです(汗) (伊藤賢司) 編集委員の汗と嬉し涙がぎゅっ詰まった一冊になりました。(志村美由紀) 今年度も編集委員をさせていただきます。よろしくお願いいたします。他の編集委員に支えられたことに感謝！

(竜崎春希) 初めての担当で大変な事もありませんが、良い勉強になりました。

(比嘉登美枝) ネット集めも記事書きも楽しくやらせていただきました。この楽しさが読む方に伝わったなら幸いです！

(若林祐子) 編集者の皆様お疲れ様でした。読者の皆様ありがとうございます(浅上勝敏)



特別養護老人ホーム かんだ連雀
かんだ連雀高齢者在宅サービスセンター
千代田区立岩本町ほほえみプラザ
子ども家庭支援センター しらとり
母子生活支援施設 白鳥寮
母子生活支援施設 東京都網代ホームぎずな

特別養護老人ホーム 信愛泉苑
高齢者在宅サービスセンター 泉苑ケアセンター
養護老人ホーム 信愛寮
特別養護老人ホーム 信愛緑苑
府中市立特別養護老人ホーム あさひ苑
府中市立あさひ苑高齢者在宅サービスセンター
府中市子ども家庭支援センター たっち